

プログラム内容 (120分の場合の例)

導入	W1	W1	M1	T1	M2	T2	M3	T3	振返り
10 min	10 min	10 min	20 min		20 min		20 min		30 min
研修概要／諸注意／なぜブラインドサッカーなのか？／デモ	コミュニケーションのウォーミングアップ1: 声を出すことの大切さ	コミュニケーションのウォーミングアップ2: ブラサカ流コミュニケーションの定義	アイマスクとボールを使用したさまざまなワーク「M」を繰り返していきます。一つのワークをするごとに、講師が、目が見えない状態になっている受講者の動きがどうだったか、何が良かったかをフィードバックしていきます。ワークを重ねるごとに、チームがTRANSFORMし、成果があがります。同時に、チームメイト同士の関係性も温度のあるものに変化します。						ワークでの気づき、学び、「チームとはなにか？」について振返り

コミュニケーションにも準備運動が必要です。小難しい理屈ではなく、ブラインドサッカー流のコミュニケーション論を、体を動かしながら理解していただきます。



ブラサカ流コミュニケーションの定義を前提に、チームビルディングをはかります。はじめは「ギクシャク」していても、チームビルディングに必要な要素を感じ、人と人との関係性が変化していきます。



振り返りワークを通じて、気づきの可視化をします。一人ひとり感じたこと、気づきの種となったことは異なります。それらを振り返りに生かせるよう、言語化・可視化します。



●要件定義(事前のお打ち合わせ段階で)

実施前のお打合せで、JBFA講師、インソース営業担当との三者間で「要件定義」をさせていただきます。ここでいう「要件定義」とは、ワークをどのような意図・思いで企画し、参加者に何を伝えたいのか等、研修ご担当者さまのねらいを言語化することを意味しています。これを行うことにより、当日はご担当者が思い描いた「ねらい」に落とし込めるような振り返りワークの実施および進行中の講師のファシリテーションが可能となります。